

2019年2月15日 NEWS RELEASE No.161

『第13回 しょうゆ感想文コンクール』入賞者決定！
—全国の小学生(3年～6年)から、1,302点の応募—

日本醤油協会(会長 濱口道雄)では「食育」推進の一環として、「第13回しょうゆ感想文コンクール」を実施いたしました。

この感想文コンクールは、食育事業の一環として協会が実施している企画で、全国の小学生(3年生～6年生)を対象に、出前授業で学んだことや工場見学で体験したこと、また、好きなしょうゆ料理にまつわる思い出などを感想文という形で記録にとどめることを目的に、広く自由な発想の感想文を募集するものです。

昨年12月7日(金)に応募を締め切り、全国の児童から3つの部門に合計1,302点の応募をいただきました。それぞれの部門に日本の伝統調味料である“しょうゆ”について、子供らしい感性豊かな感想文が数多く寄せられました。

去る2月5日(火)に、下記の選考委員による「審査委員会」を開催し、厳正な審査の結果、別紙のとおり、各部門の入賞作品を決定いたしました。

なお、「審査委員会」では、予備審査を通過した60点の作品の中から、創造性(構想力)、文章力、発展性等を選考基準として厳正な選考を行いました。

《第13回「しょうゆ感想文コンクール」審査委員(敬称略・順不同)》

奈須正裕 (上智大学 教授)
香西みどり (お茶の水女子大学 教授)
白岩 等 (昭和学院小学校 教頭)
増田修治 (白梅学園大学 教授)
正田 隆 (醤油PR運営委員会 委員長)
般若攝也 (日本醤油協会 専務理事)

また、「第14回 しょうゆ感想文コンクール」は、本年4月より開始いたします。(応募締め切り:2019年12月6日(金))。これまで以上に全国の多くの児童の皆さんからのご応募をお待ちしています。

「第13回しょうゆ感想文コンクール」入賞者一覧

2019年2月15日

主 催：日本醤油協会

審査委員：奈須正裕（上智大学 教授）

香西みどり（お茶の水女子大学 教授）

白岩 等（昭和学院小学校 教頭）

増田修治（白梅学園大学 教授）

正田 隆（醤油PR運営委員会 委員長）

般若攝也（日本醤油協会 専務理事）

賞名	受賞者詳細			
1. 最優秀賞 (各部門1点・計3点)	出前授業部門	しょうゆのふしぎ		まえかわ かんた 前川 寛太
	熊本県	山鹿市立八幡小学校	3年	
	工場見学部門	大切にしていきたいしょうゆ		いしかわ りん 石川 凜
	山口県	下関市立川中小学校	4年	
	好きなしょうゆ料理部門	すきやき大好き		もりした えいた 森下 瑛太
	徳島県	徳島市加茂名小学校	5年	

2. 優秀賞 (各部門1点・計3点)	出前授業部門	しょうゆマジック		かんのう わたる 神農 航
	長野県	才教学園小学校・中学校	3年	
	工場見学部門	しょうゆのほこり		しまだ しえ 嶋田 詩依
	島根県	雲南市立加茂小学校	5年	
	好きなしょうゆ料理部門	わが家の味		いしぐる ゆうま 石黒 悠真
	長崎県	長崎市立日見小学校	5年	

3. 佳作 (各部門5点・計15点)	出前授業部門	しょうゆマジック		にへい たいが 二瓶 大雅
	福島県	石川町立野木沢小学校	3年	
	出前授業部門	しょうゆがかくれんぼ？		くどみ ゆき 久富 有姫
	岐阜県	神戸町立下宮小学校	3年	
	出前授業部門	しょうゆづくりから学んだこと		みつだ ゆうと 光田 悠人
	島根県	雲南市立加茂小学校	5年	
	出前授業部門	しょうゆはすごい		こうもと しおり 香本 葉莉
	熊本県	山鹿市立八幡小学校	3年	
	出前授業部門	しょうゆのことが分かったよ		ながせ ゆうた 長瀬 雄太
	熊本県	山鹿市立八幡小学校	3年	
	工場見学部門	知らなかったしょうゆのヒミツ		すずき りん 鈴木 凜
	群馬県	みどり市立笠懸小学校	3年	
	工場見学部門	しょうゆは宝		かないずみ ひなた 金 泉 陽向
	埼玉県	春日部市立中野小学校	3年	

	工場見学部門	大切なしょうゆ		なべた みお 鍋田 弥央
	千葉県	昭和学院小学校	3 年	
	工場見学部門	心のこもった贈りもの		つるぞの みゆ 鶴園 実優
	愛知県	知多市立旭北小学校	5 年	
	工場見学部門	しょうゆに込められた夢と希望		よこやま ななみ 横山 七海
	島根県	雲南市立加茂小学校	5 年	
	好きなしょうゆ料理部門	しょうゆ料理にちょうせん		よしだ はるた 吉田 遥太
	埼玉県	春日部市立中野小学校	6 年	
	好きなしょうゆ料理部門	ぼくの大すきマーボードウフ		はっとり りょうた 服部 涼大
	三重県	川越町立川越南小学校	3 年	
	好きなしょうゆ料理部門	アメリカのしょうゆりょう理		ウィリアムズ せいじゅ 政寿
	岡山県	岡山市立津島小学校	3 年	
	好きなしょうゆ料理部門	おもちの思い出		たかおか けい 高岡 慧
	徳島県	徳島市加茂名小学校	5 年	
	好きなしょうゆ料理部門	しょうゆのすばらしさ		みなみ ゆみこ 南 友実子
	鹿児島県	鹿児島市立星峯東小学校	5 年	

4. 審査委員特別賞 (各部門1点・計3点)	出前授業部門	しょうゆはすごい！		しまづ あおい 島津 蒼依
	静岡県	磐田市立豊田南小学校	5 年	
	工場見学部門	しょうゆ工場見学に行って		すずき こころ 鈴木 こころ
	埼玉県	春日部市立中野小学校	5 年	
	好きなしょうゆ料理部門	せんべいうまい、せんべいふかい		くるば みねお 来馬 峯生
	埼玉県	富士見市立勝瀬小学校	5 年	

賞名	都道府県名	学校名
団体奨励賞(1校)	熊本県	山鹿市立八幡小学校

「第13回しょうゆ感想文コンクール」最優秀賞 講評

審査委員会審査委員長 上智大学 教授 奈須正裕

●出前授業部門 最優秀賞

題名：しょうゆのふしぎ

前川 寛太 さん（熊本県・山鹿市立八幡小学校 3年）

しょうゆもの知り博士の出前授業をただ受け身で学ぶのではなく、自分の興味や生活に引き付けて問いを持ち、さらに積極的に博士にも質問するなどして、自らの力で学びを広げ、深めている点が素晴らしいと思いました。

なかでも、「ぼくが一番おどろいたことは、こうじきんは、なっとうきんの天敵ということだ」「なっとうのパックの中には、いつも仲良しそうに入っているしょうゆだけど、出来上がる前は敵なので面白いなあと思いました」との鋭い着眼には、審査員である我々の方が大いに驚かされ、また納得させられました。

さらに、九州では甘いしょうゆが好まれるという点を不思議に思い博士に質問する中で、しょうゆの歴史に目を向けている点も高く評価したいと思います。

出前授業をきっかけに、主体的な学びを展開する様子がいきいきと描かれた、素敵な作品です。

●工場見学部門 最優秀賞

題名：大切にしていきたいしょうゆ

石川 凜 さん（山口県・下関市立川中小学校 4年）

工場見学部門ですが、見学で得た学びに加え、見学をきっかけに展開された自由研究的な探究の粘り強さと鋭い洞察にすっかり脱帽の一品です。

まず、工場で見た五種類のしょうゆの「色がグラデーションになっていて本当にきれいだった」ことから、「全種類集めたいな」と思い立ちます。そして、電話をかけての取り寄せまでして集めるのですが、探究はそれで終わりません。さらに、しょうゆを焦がしてろ過し、塩を取り出して量を比較することで、「色がうすい方が塩の量が多いこと」を突き止めます。そして、「食材の色を生かすために、味はこく、色はうすくする工夫をされていてすごいな」との感想を抱くのです。また、料理に合わせて五種類のしょうゆを使い分けることで、それぞれの料理がいっそうおいしくなることも見出しています。

問いを持って学び深め、さらにそれを生かして生活を豊かなものとする姿が印象的です。

●好きなしょうゆ料理部門 最優秀賞

題名：すきやき大好き

森下 瑛太 さん（徳島県・徳島市加茂名小学校 5年）

作文は終始一貫して、すきやきがいかにも、またなぜ美味しいのか、さらに作者がどれほどすきやきが好きなのかを、怒涛の勢いとスピード感で説得的に訴えかけています。その表現は、読んだ者が誰しも、すぐさますきやきを食べたいとつい思ってしまう程に豊かでカラフルです。

中盤では、なぜすきやきがそんなに美味しいのかを冷静に解明すべく、まずは材料、

次には作り方を、丁寧に淡々と記していくのですが、次第に美味しく出来上がっていく様子がいきいきと描き出されはじめ、ついには「部屋中にたちこめるあま辛いあのにおい。もうぼくをだれもとめることはできない」とすきやきへの思いが爆発していきます。

最後を飾る「ぼくも、しょうゆのように誰からも好かれて、役に立つ事ができる、大人になりたいです」の一文まで含め、実に率直で好感の持てる愛らしい作品です。

以上の件に関する取材のお問合せは

しょうゆ情報センター（醤油PR協議会）

大関 恒雄（事務局長）、中川美代子

住所 東京都中央区日本橋小網町3-11（〒103-0016）

電話 03-3666-3286 FAX 03-3667-2216

URL : <https://www.soyssauce.or.jp/> E-mail : soyic@soysauce.or.jp